

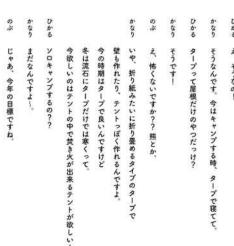
alleyで子どもたちと生活を共にする大人たち。 そんな大人達がどんな人なのか、深掘りしていきましょう! 今月は 幼児クラス 赤水チーム と 幼児フリーの職員です。

アトリエ担当 河合



左から、ひかるさん みさきさん かなりさん







# small alley

6月の保育主題

『水の音に みみをすます』

この季節だからこそ気づく時間の流れや天候のこと



まち歩き中に見つけたハト。こどもたちが指をさして「ハトのお祭りだ!!」叫んでいました。なんだか楽しい言葉ですね。

## 社会福祉法人 東香会

保育理念『いきいき』 合言葉 『すべて子ども中心』

# 基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどものたからもの」を大切にします』 『地域で安心して子育てができるように!』 『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』





園長 名古屋 彩佳

6月3日はsmall alleyの祭典の一つである「まち歩き」が開催されます。

子どもたちが日々おこなっているまち歩きを、保護者の皆さんにも体験していただく日です。

子どもたちと街を歩くと、思いもよらない場所で足を止めます。急いでいる時にこんなことが起きると「あ〜もうなんで!早くいくよ!」と思いますよね。しかし、まち歩きではこの、足を止めるところからがスタートです。子どもたちと一緒にたくさん寄り道をしながら、子どもたちが今何を見つめ、何を考えているのか想像してみる。そんな日なのです。

今日も子どもたちとまち歩きに行ったのですが、最終的にたどり着いたのは園の目の前にある清掃工場の茂みです。

妖怪チームと共に歩き、暗闇を探していると見つかった茂みの中の小さなトンネル。「入れるかな」「入れないよ」とみんなで話していると、「いけそう!」と○○さんが体を丸めて入っていきました。妖怪チームのメンバーも身体を小さく小さくさせて、穴の中に吸い込まれていきます。「あ!ここはダンゴムシが大量だ!すごいよ!すごいよ!」と◇◇さん。茂みの隙間からは子どもたちの靴がいったりきたりするのが見えます。中から子どもたちの高い声が次々に聞こえてくると、その横を歩く人たちも"何かあったの?"というように足取りがゆっくりになります。

いつもはなんの変哲もない道、子どもたちがいることで何か事件が起きたかのように空気が変わりました。流れていた空気がブワッと溢れたようなそんな感覚です。地域の中で子どもが育つということはこういうことだろうなとつくづく思いました。

度を超えたら怒られるだろうし、許容範囲だったら見守ってもらえる。その許容範囲を少しずつ広げていけたら、子どもたちも親も、 もっといきいきとできるのに…なんて思ってます。

大人だけの世界は真っ平で、大きな波を起こすまいと均すことが多いです。そもそもこれだけ様々な家庭環境、思想の人が集まった世の中で真っ平で居続けることは不可能だと思います。大きな波にどのように向き合っていくのか、耐久力や応用力をつけていかなければいけないですね。(対立という関係性ではなく)

少し話がずれましたが、子どもたちはまち歩きをしながら街にある様々な事象と触れ、感じ、学んでいます。世の中にあるものとの関係性が見えて、"楽しさ""面白さ"を通して 向き合っています。

まち歩きで子どもたちがどんなことを得ているのか職員で 研修した内容の一部を、園だよりと一緒に掲示しますので ご覧ください。

みなさんもまち歩きをしながら、子どもたちがどんなことを 感じているのか、ぜひ考えてみてください。



### 6月のスケジュール

	火	水	木	金	土	Θ
			1	2	<b>3</b> 祭典 まち歩き	4
5	6	7	8	9	<b>10</b> 時の記念日	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	<b>21</b> 夏至	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

#### ー お知らせ ー

#### - 看護師より -

#### ー キッチンより ー

あじさいの花が色づきはじめ、梅雨の訪れを感じる時期になりま した。湿度も高くなり、なんとなくだるさを感じる季節ですね。

6月は、栄養たっぷりの夏野菜をたくさん取り入れた献立になっています。

また、色とりどりに咲くあじさいをイメージした、 「あじさい寒天」や「あじさいポテトサラダ」を提供予定です。

先月はレモネード作りをこどもたちに手伝ってもらいました。

自分で切って、砂糖と一緒にビンに詰めたレモン。 「レモン、どうなってる~?」と覗きに来て、変化を楽しんでいる ようでした。

今月は旬の梅を使ってこどもたちとシロップ作りをします。 どんな反応があるのか、今から楽しみです!